



誰もが楽しく幸せに6年間を過ごせる別府小学校
～全ての子どもに居場所がある学校づくり～
～**学校だより 5月号** 巻頭言として～

令和7年5月1日(木)
発行：摂津市立別府小学校
校長 河平 浩一

新緑がまぶしい季節となりました。

子どもたちは新しい学年・新しい学級にも少しずつ慣れ、日々元気に学校生活を送っています。



私も、別府小学校の校長としてスタートを切り、子どもたちの明るい笑顔や、教職員の温かなまなざしにふれる中で、子どもたちの成長の実感を日に日に深めています。

さて、今回は、皆さんに別府小学校での素敵な一場面を紹介したいと思います。それは、20分休みや昼休みの風景です。別府小学校の子どもたちは、チャイムと同時に元気に運動場や前庭に飛び出し、思い思いに遊び始めます。



うれしいのは、子どもたちだけでなく、先生方も一緒になって遊ぶ姿がそこにあることです。

子どもたちは、先生たちと汗をかきながら、笑いながら、休み時間を存分に楽しんでいます。

最近では、私も元気な子どもたちにつられて、サッカーやドッジボール、大縄跳びなどに参加することが増えてきました。



もちろん、運動場に出ていない子どもたちもいます。教室や廊下、図書室など、それぞれ自分に合った場所で、ほっとできる時間を過ごしています。

私は、こうした姿こそ、学校本来の姿だと感じています。

子どもたちが、自分の居心地の良い場所で、思い思いに遊び、楽しみ、過ごしていく。

そんな日常の積み重ねが、子どもたちの心を育てていくのだと思います。授業での学習の様子はもちろん大切ですが、ぜひ、こうした子どもたちの生き生きとした姿も、ご覧いただけたらと思います。

今後とも、子どもたちの成長を支えるために、保護者の皆様、地域の皆様とともに力を合わせてまいります。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。